



精神の疾患と障害

わが国における「精神疾患」の患者数は年 323 万人で、237 万人の「糖尿病」、152 万人の「がん」などよりはるかに多く、いわば誰でもかかる可能性のある病気といえます。

他の身体疾患と同じように、精神疾患も本人や周囲が早い段階で不調に気づき、専門家に相談する早期発見・早期治療開始が大切とされています。また、他の身体疾患にも増して、周囲の理解や協力の有無が、治療の進捗や再発防止に深くかかわってきますし、障害による生きづらさがあっても周りの支えがあれば状況は大きく変わります。

今回の講座では、精神の疾患や障害の全体像を踏まえ、統合失調症とうつ病に重点を置いて、おたすけや援助のあり方を考えます。

期 間：立教 176 年 6 月 26 日（水）・27 日（木）

会 場：おやさとかた東左第 3 棟 3 階

対 象：ようぼく

定 員：40 名

受講御供：1,500 円

携 行 品：筆記具

締 切 日：6 月 15 日（土）

※詳しい日程は裏面参照



下記の要領で、ひのきしんスクール事務局まで事前にお申し込み下さい。		
<p>STEP1 申込事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 受講希望講座名 ② 氏名/ふりがな ③ 〒/住所 ④ 電話番号 ⑤ 生年月日 ⑥ 性別 ⑦ 直属・所属教会名 	▶	<p>STEP2 申込方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ● E-mail ● ホームページ ● FAX ● 郵便<はがき・封書> <p>※電話での申し込みはお断りしています。</p>
<p>!</p> <p>◆お申し込みいただいた方には、締め切り翌日以降に「ご案内(開催日程・会場図など)」を郵送します。 ※定員を超えた場合は、受講をお断りすることがありますので、予めご了承下さい。</p>		
<p>ひのきしんスクール事務局（布教部ひのきしん課内） 〒632-8501 天理市三島町271 TEL 0743-63-2314 FAX 0743-63-7578 E-mail h-sc@tenrikyo.jp</p>		
		<p>携帯QRコード ▶▶ </p> <p>ひのきしんスクール 検索 ⇐ </p> <p>http://fukyo.tenrikyo.or.jp/h-sc/</p>

日程表

1 日 目		2 日 目	
13:00	受付	8:50	集合
13:30	開講・オリエンテーション	9:00	講義④ 「統合失調症に寄り添う」 廣岡 文衛 氏
13:50	「ひのきしんとは」 ひのきしんスクール運営委員 井筒 悟	10:15	
14:10	休憩	10:30	講義⑤ 「制度や機関を利用するには」 冬木 利明 氏
14:20	講義① 「精神疾患の基礎知識」 長内 清行 氏	11:30	
15:20	休憩	12:30	パネルディスカッション 「おたすけと支援のために」 【パネリスト】 廣岡 文衛 氏 冬木 利明 氏 【司 会】 井上 隆文 氏
15:35	講義② 「精神科のかかり方」 長内 清行 氏	14:00	
16:35	休憩	閉講	
16:50	講義③ 「うつ病の理解と支援」 井上 隆文 氏		
18:00	解散		

講師紹介（登壇順）

氏 名	立 場
ながうち きよゆき 長内 清行 氏	国立病院機構 舞鶴医療センター精神科 医師 2013年3月末まで、「憩の家」精神神経科に勤務。
いのうえ たかふみ 井上 隆文 氏	ひのきしんスクール運営委員・理風分教会長 長年『天理時報』の記者・デスクとして医療分野を担当し、道友社刊『心の病と癒し』を編述。その後、うつ病の方のおたすけ・支援に取り組んでいる。
ひろおか ぶんえ 廣岡 文衛 氏	ひのきしんスクール運営委員・美唄分教会長 30代前半、不安神経症に加えうつ病に。数年かけて身上をご守護頂いた後、おたすけに取り組み、現在、多数の精神障害者の住み込み人と共に教会生活を送っている。
ふゆき としあき 冬木 利明 氏	精神保健福祉士・秋津鴻池病院 医療相談課勤務（徳二分教会ようぼく） 天理大学人間学部人間関係学科社会福祉専攻卒業。 入院患者の退院に際し、地域資源との連携の調整に尽力している。